人の道×風の道＝シナガワ

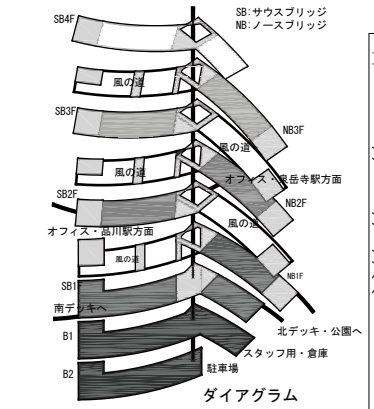
品川駅周辺開発における複合エリア・風の道計画

1043146　　大馬　菜美
指導教員　　成田　健一

あなたは東京の都市開発をどう思っているだろうか。近年、東京は都市開発が進み、環境への意識も高まり、さまざまなスタイルの都市が造り出されてきた。現在における都市開発の特徴は、高級志向で、富裕層にターゲットを限定した開発傾向にある。しかし、このような総合的ではなく偏った開発が、本当に必要とされているのだろうか。そして高級志向の流行りから、誰もが気軽に利用できるという要素を失っているのではないか。また、多くの開発がベイエリアに集中し、水辺に対する意識は強いものの、身近な水辺はあまり生かしきれていない。その上、水辺は若者のまちというイメージが存在している。このように、環境のことはもちろん、都市開発にはさまざまな課題が存在している。

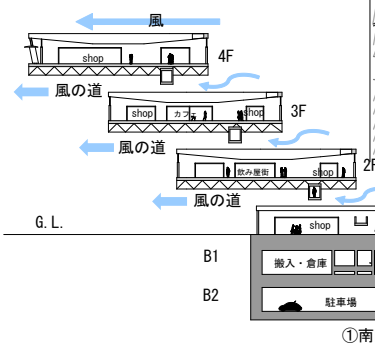
現在、品川・田町駅間では大規模なまちづくりが行われようとしている。今までの都市開発よりも、都市が抱える環境問題に対して積極的な計画である。そこで本計画では、実際の開発をベースとし上記の課題を踏まえた上、人の流れと風の道という２つのラインに注目し、商業を中心とした複合施設を提案する。駅ーオフィスー商業施設ー水辺ー住宅と連続させたエリアは、動線に沿って建物を配置したことで、自然と水辺へ導き、人の動きに回遊性を生む。建物の内部は横で分割、縦で統一という空間構成になっている。分割空間はフロアごとにターゲットを絞り、そのターゲットに合った構成が展開され、統一空間では共通のもので繋がり、それぞれの動線が交わるようで交わらない空間構成になっている。また、フロア同士の間に空間を設け風の道とし、実際に模型を使い、他のパターンのものと比較してみた。

人と風が共に流、水辺を近くに感じ、誰もが気軽に利用する、そんな当たり前のようなことを望み、環境にeco,財布にecoであること。そして、常に人に優しく、環境の味方であるエリアになることを期待する。

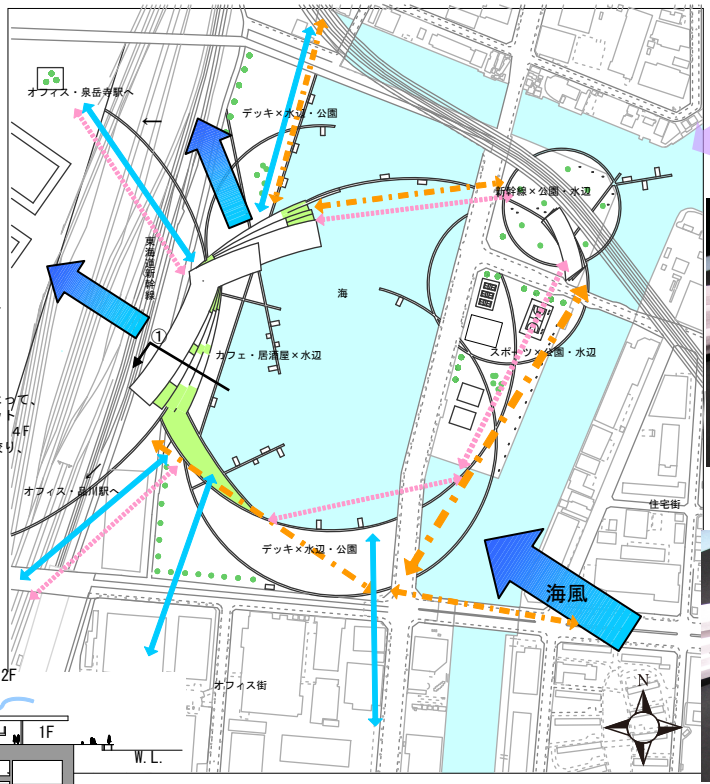


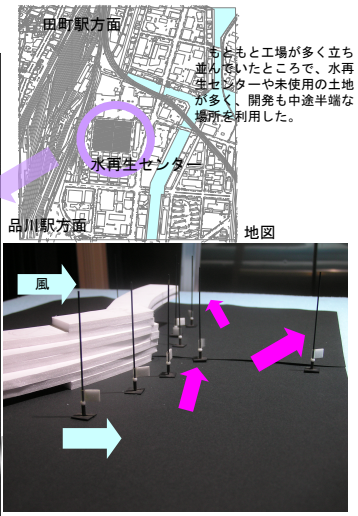
ダイアグラム

■ 本屋・音楽専門店・エントランスの共通要素によって、縦へ繋ぐ。1Fターゲット：■ 近隣住民　2Fターゲット：■ワーカー　3Fターゲット：■ヤング～アダルト　4Fターゲット：□ファミリーこのようにターゲットを絞り、そのターゲットに合った動線・配置計画とした。

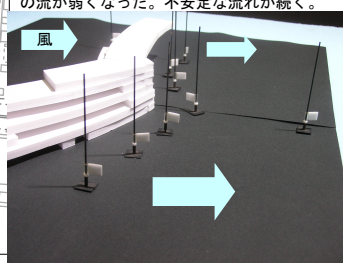


①南断面図





実験写真１　全密閉モデル
風は建物に沿って横へ流れ始めた。建物後方への流が弱くなった。不安定な流れが続く。



実験写真２　本計画モデル
層を造ったことで風の道ができ、流れがスムーズになった。一定方向の流れを保つ。

配置図権人の流れ・風の流れ

人の流れ　ワーカー　ファミリー　近隣住民

0　10　50　100　200m